

＜自転車の安全利用促進委員会レポート＞

県内自転車事故多数を高校生が占める千葉県 高校の交通安全指導担当教員約140名が自転車通学指導について学ぶ

自転車の正しい利用方法や安全安心な自転車の選び方、メンテナンスの重要性を啓発する自転車の安全利用促進委員会と一般社団法人自転車協会は、2023年6月21日(水)に千葉県総合スポーツセンター内スポーツ科学センター第一研修室で行われた『令和5年度高等学校安全教育指導者養成講座』にて、自転車通学指導セミナーを実施し、千葉県内の高等学校の教職員約140名が参加されました。

千葉県は中学生・高校生の通学時の自転車事故が非常に多く、当委員会の調査では、2021年に発生した1万人あたりの自転車事故件数は中高生ともに多く、高校生は全国ワースト14位、中学生は全国ワースト17位となっています。千葉県は特に高校生の自転車事故が非常に多く、2022年に発生した年齢別自転車事故件数では、突出した数となっています。また時間帯では、朝の通学時、7時台から8時台の間に集中しており、発生場所は交差点が約7割、中でも信号機のない交差点が多くなっています。千葉県では自転車利用者の悲惨な事故を減らすため、2022年7月から「千葉県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を改正し、自転車損害保険等への加入を義務化しています。

講演では、千葉県内の高校生の自転車事故の特徴や事故データに触れ、全国の自転車通学指導事例を紹介しました。また、見落とされがちな自転車自体の安全性(BAAマークについて)の大切さについて解説しました。講師の遠藤まさ子(自転車の安全利用促進委員会メンバー/自転車ジャーナリスト)は、「車の運転免許を持っていない高校生は、道路標識等を正しく理解できておらず、道路交通法を前提とした指導が必要です。生徒が加害者になってしまう事故に関して、交通ルールだけではなく、なぜ必要なのかを伝えていくことが重要です。」と解説しました。「自転車側が弱者とは限らず、事故の加害者になってしまうケースは、リアルな情報を伝えることで、重大さの理解につながります。万が一事故が起きた際には、ヘルメットの着用有無が被害の大きさの分かれ目になり、保険加入の有無がその後の生徒や家族の人生を左右します。事故に遭わない・起こさないための教育のほか、事故に遭ってしまった・起こしてしまった時のことを考え、ヘルメット着用や自転車保険の加入はしっかりと指導していきましょう」と強調しました。

また、通学自転車は毎日乗るため、BAAマークなどの安全マークが付いた自転車を選び、車検のように定期的にメンテナンスをすることが重要です。」と解説しました。講演後は「実践している自転車教育についての意見交換と、それを踏まえて二輪・自動車事故削減に向けてどのようなアプローチをしたら有効か」をテーマに各学校の教職員で話し合っていました。

新年度が始まり、新入生の自転車通学が本格的に始まります。当委員会の調査では、中学生、高校生の自転車通学による事故は5・6月が最も多いことがわかっています。ルール・マナーだけでなく自転車の車体自体の安全性についても改めて理解いただき、他県の指導事例を参考に教職員の皆様が自転車通学の安全指導について考える機会となりました。

【参加した教職員の感想】

- ・自転車の乗り方・ルール・他県の指導事例について細かいことを知ることができたので、今後の指導に生かしていきたいと思いました。
- ・自転車保険のことや、BAAマークの付いた自転車の選び方・メンテナンスについても学ぶことができ参考になりました。



■参考資料

《講師略歴》

遠藤 まさ子

自転車の安全利用促進委員会メンバー／自転車ジャーナリスト

自転車業界新聞の記者や自転車専門誌の編集などを経てフリーランスへ転向。自転車・育児用品を中心に取材を行い各誌に寄稿。自転車の中でも子ども乗せ自転車、幼児車、電動アシスト自転車を得意とし、各種メディアで自転車の利活用、安全指導等解説を行う。



《自転車の安全利用促進委員会》

自転車の安全利用促進委員会とは、一般社団法人自転車協会の協力を受け、安全安心な自転車利用のための啓発活動を行う団体です。自転車の利用者の方々に快適な自転車生活を送って頂くため、購入時に知っておくべき自転車の選び方から購入後のメンテナンス、正しいルール・マナーなどの情報発信を行っています。また、活動の一環として教職員や学生を対象とした、自転車通学指導セミナーも全国で開催しています。

<http://jitensha-anzen.com/>

《BAA マーク》

BAA マークは、一般社団法人自転車協会が定める自転車安全基準に適合した自転車に貼られています。自転車安全基準には全部で約90項目の検査項目があり、ブレーキ制動性能、フレーム・駆動部の強度、ライトの光度、リフレクターの反射性能などの検査に合格する必要があります。



《2021年都道府県別 自転車通学時の事故件数ランキング／千葉県》

中学生の通学時1万人当たり自転車事故件数ランキング(2021年) 高校生の通学時1万人当たり自転車事故件数ランキング(2021年)

順位	前年順位	都道府県	1万人当たりの事故件数	事故件数	前年比増減率(1万人当たり)
1	2	群馬	33.07	173	54.60%
2	1	香川	18.90	49	-12.74%
3	3	徳島	14.93	27	-7.13%
4	7	佐賀	14.19	35	32.94%
5	8	栃木	13.01	68	24.57%
6	5	岡山	12.75	66	7.87%
7	9	宮崎	10.93	34	11.77%
8	4	高知	10.45	18	-24.98%
9	19	滋賀	10.03	42	118.28%
10	13	静岡	9.47	94	37.86%
11	10	茨城	7.85	61	-16.78%
12	28	和歌山	7.01	17	111.84%
13	11	山形	6.88	19	-13.11%
14	6	山梨	6.61	14	-43.35%
15	12	愛媛	6.21	22	-12.33%
16	27	鳥取	6.15	11	82.24%
17	25	千葉	5.55	89	57.26%
18	26	三重	4.95	24	40.82%
19	16	兵庫	4.85	71	-3.59%
20	20	広島	4.81	37	18.25%

順位	前年順位	都道府県	1万人当たりの事故件数	事故件数	前年比増減率(1万人当たり)
1	1	群馬	111.95	569	27.05%
2	2	静岡	64.29	606	10.72%
3	5	徳島	41.26	74	35.00%
4	4	香川	37.64	97	22.07%
5	7	佐賀	34.72	79	17.61%
6	8	愛知	34.01	646	18.90%
7	3	宮崎	31.10	92	-5.77%
8	11	兵庫	29.98	398	20.12%
9	12	埼玉	29.73	497	28.80%
10	6	山梨	29.46	68	-1.28%
11	14	栃木	27.57	142	20.95%
12	9	長野	26.57	145	5.93%
13	10	山形	25.28	71	0.87%
14	13	千葉	24.56	356	7.72%
15	17	福岡	23.66	301	24.95%
16	15	岡山	22.05	113	4.96%
17	19	広島	20.90	147	16.94%
18	18	大阪	20.75	439	10.35%
19	20	大分	20.42	61	17.42%
20	22	神奈川	20.27	409	21.20%